

授 業 目 名	臨 床 実 習 IV	授 業 形 態	実 習
		配 当 学 期	3 年 (前 期)
担 当 教 員 名	沖 田 任 弘、水 谷 貴 佐、山 田 真 輔 落 合 慶 之、平 塚 将 嗣、中 村 侑 造	単 位 数	8 単 位
		時 間 数	360 時 間
概 要	<p>理学療法士として必要な業務一般を実習指導者の指導監督のもとで総合的に実践し、臨床家として基礎を形成する。その他の事項および実習の詳細については、別途配付する「臨床実習手引き」による。</p> <p>◎ 内容</p> <p>1. 8 週間に期間を通じて、複数の患者を臨床実習指導者の指導の元に担当させていただき、理学療法の総合的学習を行う。</p> <p>2. 検査測定から始まり、評価、治療にいたる一連のプロセスを体験する。</p> <p>◎ 実習期間</p> <p>治療実習I(8 週間)</p>		
評 価 方 法	<p>① 評価表による最終評価を点数化(A:10 点、B:8 点、C:6 点 D:4 点)した平均点。</p> <p>② 実習後セミナーにおける発表時の他者質問に対する返答の可否(割合)と、他者発表に対する質問の程度(割合)を 10 点満点で算出。</p> <p>③ 客観的臨床能力試験(OSCE)を 10 点満点で算出。</p> <p>①～③の平均点が 8 点以上～10 点:A、7 点以上～8 点未満:B、6 点以上～7 点未満:C、6 点未満:Dとする。</p>		
教 科 書 参 考 図 書	<p>[教科書] 臨床技能と OSCE(機能障害・能力低下への介入編) 金原出版</p> <p>[参考書] 臨床技能と OSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編) 金原出版</p>		
履 修 上 の 留 意 点	<p>臨床現場での実習であるため、態度・服装等に細心の注意を払い、学生らしく真摯な態度で取り組むこと。また、個人情報をもととする各種の現場での規約を遵守し、社会人として恥ずかしくない行動を取ること。</p>		
メ ッ セ ー ジ	<p>常に適度な緊張感をもち実習にしてください。</p>		